

令和4年度 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 藤雪会	代表者	理事長 又木京子	法人・事業所の特徴	家庭的で穏やかに安心して過ごせる。 お一人お一人の尊厳とご家族の思いに寄り添う。
事業所名	ガーデンハウスもも (緑 区)	管理者	管理者 齋藤 恵美子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	1人	2人	0人	1人	1人	人	2人	人	7人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	朝・夕の引き継ぎ時に利用者様やご家族等の変更や変化のある時は随時共有する。 利用者様の一部分でなく一日を通して把握出来る様に検討していく。	利用者様の一日を通して把握できるように勤務時間についての検討は常勤職員が増えたので利用者様一人一人の行動に係ることが出来る様になってきている。	業務で忙しい中、十分に引き継ぎされ、情報共有がしっかり出来ていることがうかがえる。	朝夕の引き継ぎの継続と送迎職員等に引き継ぎ事項を伝える。
B. 事業所のしつらえ・環境	新型コロナウイルス感染症対策を継続していく	感染症隔離時グレーゾーンの重要性を再確認した。個室内にグレーゾーンの空間を作る為、業者に依頼した。	感染対策もしっかりされて、入りやすい環境だと思う。 良く整理されている。	防災時の備蓄も含め生活環境の整理整頓をしていく。
C. 事業所と地域のかかわり	地域のイベントに参加 よろず相談窓口を設置していく。 毎週1回 月曜日 午後1時～5時迄開催	地域のイベントはコロナ感染症の為中止で参加出来なかった。 よろず相談5件あり。	送迎の際に接する職員の方々は皆さん気持ちの良い挨拶をしてくださいます ももだよりで1ヶ月間の様子が分かるので今後も続けて欲しい。	地域のイベントに参加 よろず相談の継続（随時） ボランティアの受け入れを行っていく。
D. 地域に向いて本人の暮らしを支える取組み	自治会の組長を受け、広報誌の配布、回覧板等を利用者様と共に行っていく。	利用者様と共に配布していた。 地域のスーパーへ買い物同行で欲しいものを購入している。 いつもの美容院へ同行している。	地域に向くことが出来なかったと思うが全て良いと思える。	自治会組長を受ける 地域資源の利用
E. 運営推進会議を活かした取組み	偶数月の第4火曜日 13時30分～開催継続	定期的に開催して、事業報告を行ってご意見等を頂いている。	ひとつひとつのテーマについて皆さんで検討され達成可能な計画になっていると思います。	偶数月の第4火曜日 13時30分～開催

F. 事業所の 防災・災害対策	年 2 回の合同訓練を行う 事業所独自の夜間想定避難訓練を行う。	毎月 11 日を防災の日と決めて自主訓練を行っている。 合同訓練時炊き出し(外でご飯を炊いて)利用者様全員でおにぎり作りを体験した。	防災時地域の方で公的な避難所へ行けない方などひとまず避難できそうな所だと思う。 事業所が頼りになるのは間違いと思うので、あらゆる事を想定して準備しておいて欲しいと思います。	年 2 回の合同訓練を行う 毎月 11 日を防災訓練の日として毎月行う。
--------------------	-------------------------------------	---	---	---